



全5回プログラム

第1回 希望と不安を分かちあおう
～魅力ある「みち・まちづくり」へ

【両通り合同開催】

日時 | 2016年8月8日(月) 19:00～21:00

場所 | 穂の国とよはし芸術劇場プラット 創造活動室A

第2回 地域の魅力を生かしたみちづくりとは

【水上ビル】

日時 | 9月4日(日) 14:00～17:00

場所 | 開発ビル6階601会議室

【萱町通り】

日時 | 9月12日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館 2階研修室AB

第3回 みちづくりの基本計画を吟味しよう(1)
(通り別に開催)

第4回 みちづくりの基本計画を吟味しよう(2)
(通り別に開催)

第5回 歩いて楽しい、出来事であふれるみちを育てよう



萱町通りと水上ビル(北側)の魅力づくりを地域のみなさんで考えるためのワークショップがはじまりました。

この通信では、8月8日(月)に開催された第1回の様子をお届けします。2つの通りの合同開催となった第1回目には、約50名の多世代の方が参加されました。希望や不安を語り合い、これからの「みち・まちづくり」を考えるはじめの一歩を踏み出しました。

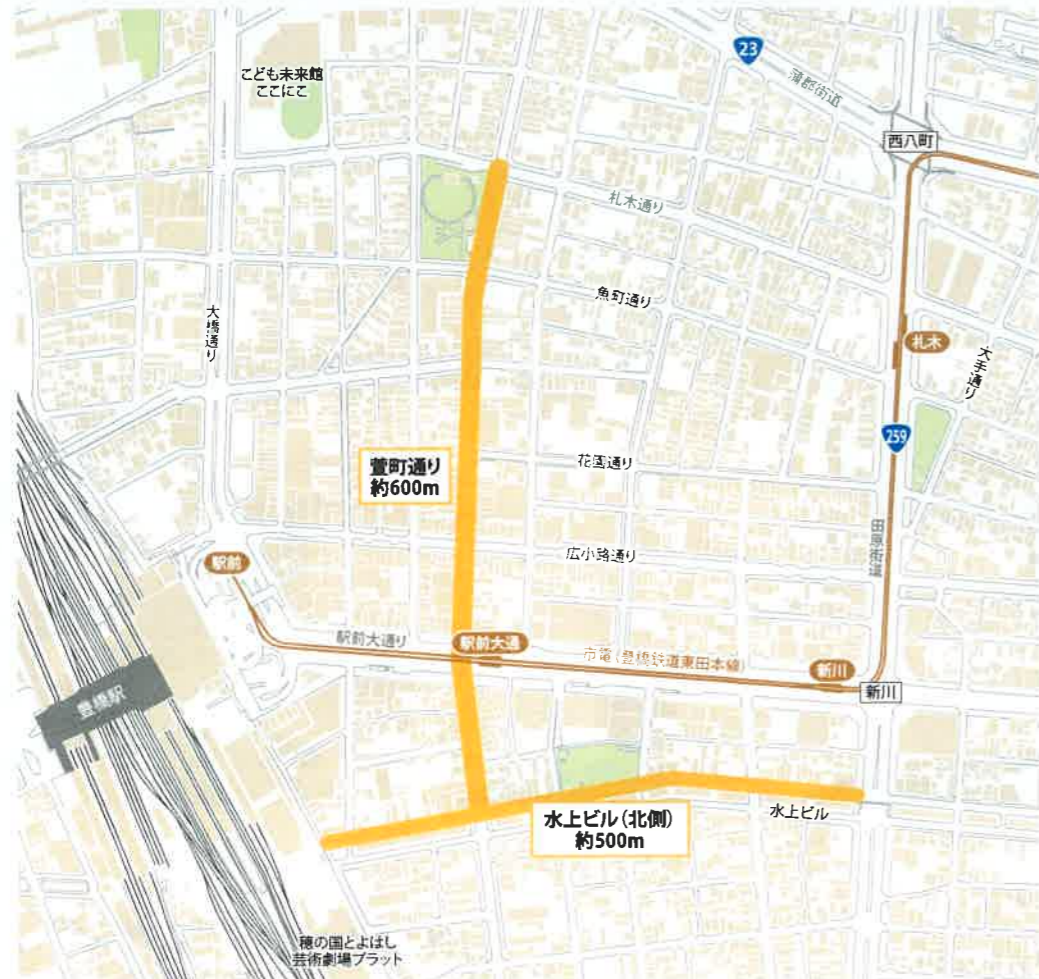


ストリートデザイン事業とまちの魅力づくり

1. ストリートデザイン事業って？

「車」を中心とした通りから『歩行者』を中心とした通りへ転換し、中心市街地に『歩く楽しみ』という新たな魅力を加えることで、まちなかへの来街や居住を増やし、回遊性を高めることを目的としています。

現在の計画路線) 萱町通り、水上ビル(北側)の2路線



2. ストリートデザイン事業実施スケジュール

- H27 基礎調査
 - ・道路の幅や、道路に設置してある構造物等の現況調査を実施
- H28 基本計画作成
 - ・整備方針と景観デザイン案の決定
- H29 実施設計
 - ・基本計画を基に、整備内容を決定し工事をするために必要な設計を行う
- H30～32 工事

3. 課長から皆さんへひとこと

来なくなる、住みなくなる中心市街地を目指して魅力ある“みち・まちづくり”について皆さんと一緒に考えていきましょう！

伊藤紀治
(豊橋市都市計画部まちなか活性課長)



みち・まちづくりの視点で参加しよう！

1. みち・まちづくりのイメージ (参考事例の紹介①)

まず、延藤安弘さん(NPO 法人まちの縁側育くみ隊代表理事)からスライドを映写しながらのお話「幻燈会」がありました。延藤さんは、長年全国各地の住民主体のまちづくりにたずさわってきた経験から、“みち・まちづくり”のイメージを喚起する事例を紹介しました。

1). 無機的なまちを有機的に

—子どもの育みとまちの育みをマッチングさせる(絵本『ピロギング』、ジニー・ベイカ、英国)



文字のない絵本です。
頁をめくると、主人公の女の子は成長し、窓から見える「みち」が変化していきます。
荒れたまちの光景は、歩いて楽しい憩いの場になっていきます。

2). 市民参加型公共施設づくり

—図書館交流プラザ(愛知県岡崎市)

図書館交流プラザ(岡崎市)の設計と管理運営に市民が身を乗り出して参加していったプロセスをご紹介します。
参加型の計画づくりは個性的な風景を生み出し、管理運営にも責任をもつ市民を育てていきます。



3). 道路を生活の場として生かす

—「冬の夏祭り」(絵金蔵)のある赤岡町(高知県香南市)



「道の上のコタツ」という意表をつく商店街の道路を生かした「冬の夏祭り」。
高知県香南市赤岡町は、地域住民の知恵と技と気概がまちを内側から元気にするのを示唆しています。

4). 都心の道路を生活空間にとり戻す

—地域主導による公共空間のリデザイン(名古屋市錦二丁目長者町地区)

車のための道路から人のためのみちに変えようと、都心で地域主導の公共空間リデザインの社会実験が行われました。
山の間伐材を生かした歩道拡張の実験は、山の再生とまちの再生を結びあわせる「都市の木質化」の試みです。



2. みちづくりの色々 (参考事例の紹介②)

黒島直一さん(大日本コンサルタント)からの話題提供では、沿道の方々が主体となってみちづくりが行われた国内事例(横浜、岩手県平泉)と、みちを中心とした公共空間を活用している海外事例(スペイン、フランス)を紹介しました。



元町通り(横浜)



バルのある通り(グラナダ)



ベルシーヴィラージュ(パリ)

希望の木

●「希望の木・不安の木」に寄せられたつづき集です
グループワークでは、ストリートデザインへの希望と不安を分かち合いました。萱町通りは3グループ、水上ビル（北側）は2グループに分かれて意見を出し合い、各班毎に「希望の木、不安の木」をつくりました。ここでは全ての話題を網羅して紹介できるように、全体で整理して掲載しています。



まずは自己紹介！
多世代、多様な人が
集まりました！



葉っぱに見立てた
カードに意見を
書きました。



グループ毎に発表！

地域一帯の魅力向上

まちの担い手を育てたい

- ・(ワークショップにたくさん参加されている様子から) 現時点でも担い手になりうる人が多いと感じる。
- ・幅広い世代の方々が集まるにぎやかな街をめざしたい。
- ・50年、100年先の豊橋をイメージして街づくり、道づくりを考えたい。
- ・古くから続くもの、地元で長く暮らしている人、新しい魅力のあるものを大切に。
- ・お客様が来店下さるよう「明るい街」にしたい。子供も大人も歩ける街。

沿道の店舗の賑わいと一体的に考える

- ・挑戦できる場所。
- ・沿道沿いの地域(店舗)の魅力が伝わる道。
- ・昔ながらの店が楽しい。おしゃべりができる。
- ・生活・文化、歩いて何でもそろそろ便利さが活きる道。
- ・買い回りができる通りになって欲しい。
- ・通りとしてバランスをとるため、不足業種の誘致を。
- ・駐車場が減って欲しい。
- ・「豊橋のなんでも第一！第一通発展会」“第一”とつく店舗や企業が多くあった。
- ・日にちや曜日を決めて道先でも販売できると面白いかも。
- ・豊橋は市(いち)が多いことを生かしたい。市(いち)の色々なところで人の集まりができる。買い物ができる通りにしたい。

公園とみちのつながり

- ・豊橋は都市計画が良く、所々に公園があるのがいい。
- ・道づくりでも公園を活用できるといい。

夜も明るい景観

- ・明るい景観がいい。夜は照明が暗い。
- ・電柱のない道。
- ・夜が明るい歩道に。
- ・帰りは遅いけど、思わず寄りたくなる通りにしたい。

緑が多いみち

- ・四季の木もしくは花で、一年中花のある道。
- ・仙台の様に緑があふれ、樹木の下に街路がある、その通りを歩いてみたくなる。
- ・自由でのびのびした樹木のある道。

休憩できる場所

- ・(人が歩く道になるために)座るところがあると歩けそう。
- ・ベンチがある歩道を希望。
- ・休憩施設がほしい。
- ・休憩場所、足湯、バルのような場所がほしい。
- ・気持ちよくタバコを吸える場所がある通り。

人が中心のみちへ

- ・人が中心の道って楽しそう。
- ・笑顔があふれる道。
- ・人通りが多い道になって欲しい。
- ・若い世代や他から来た人が自然に交流を深められる街になるといいな。
- ・「車より歩く人優先の通りづくり」に考えを切り替え、店づくりも新たに。
- ・大人から子供までいろいろな人が歩く道にしたい。
- ・歩行者優先の通り。
- ・雨の日でも楽しく歩ける道・まち。アーケードがほしい。
- ・歩道をよりよく活用する。

安全な歩行空間

- ・子どもが安心して歩ける屋の時間も楽しい通り。

個性ある通り

- ・駅前とひとくくりにはされなくて、萱町通りとして個性的な通りになって欲しい。
- ・通りに新しい名前を。

地域一帯の魅力向上

- ・豊橋の新しい「まちなか」と言えるような魅力的な場所にしたい。(かつての名豊のような)
- ・道も生活のスペースへ。お店としても憩いの場としても自由に使っている風景は楽しそう。
- ・人が市内に戻ってこれば店に活気が戻ってくるように思います。
- ・「豊橋に行ってみよう!」「豊橋にいこう!」と思う人が増える空間・場所に!
- ・普段接する機会のない多様なジャンルの人と交流できる場所にしたい。
- ・創造力をかきたて、多様な活動のきっかけになる道になるといいな。

休憩できる場所

- ・歩くためだけの道ではなくずっと座ってられるようなスペースもほしい。

安全で快適なみち

- ・老若男女全ての人に優しい道がいいな。
- ・小さな子どもも危険を感じずに遊ばせることができる街路に変わったら良いと思う。
- ・ベビーカーも安心して通れたい。
- ・ベビーカー連れのお母さんが気軽に心地よく過ごせる空間・場所になるように!

自然との共存

- ・生き物がうじゃうじゃといる道もいいな。
- ・強風でも歩きやすい道がいいな。
- ・夏は涼しく、冬は暖かい道がいいな。
- ・緑の潤いのある庭のような道。くつろぎの空間ができるといいな。
- ・青空がきれいに見えたらいいな。
- ・狭間公園の緑が再開発で減りそうなので、緑でもじゃもじゃにする!緑化管理はまちをあげて!
- ・ヒートアイランドが進むため、樹木を市民参加と協働で管理し緑を絶対的に増やす!

人が中心のみちへ

- ・人がいっぱいいる道になればいいな。
- ・まちなかで楽しむ人々が増えるような道になればいいな。
- ・少し遠回りしてでも歩きたい道になればいいな。
- ・みんなが通りたくなる、行きたくなる道路、歩きたくなる道になるといいな。
- ・歩きやすい道になってもらいたい。

自動車アクセスの確保

- ・駐車場に車を停めて歩くのは不便。短時間なら気軽に車を道端に駐車したい。
- ・短時間(30分間くらい)の駐車は無料の駐車場がほしい。

新旧のコミュニティの混ざりあい

- ・地域のコミュニケーションの場となるストリートになることに期待。
- ・新しい住民が増えていく。
- ・新しいコミュニティと仲良くするためのお祭りの開催!

商店街や新図書館とのつながり

- ・本や雑貨、おいしい食事などなど。歩くとき楽しいマニアックなモノに触れられる雑多な道になるといいな。
- ・街なかに若い人が集まる。個人的には本が好きなので、新しい図書館づくりに参加したい!
- ・トリエンナーレで空き店舗が全部埋まりアート・デザインの人たちが増えてどんどんカッコヨク!水上ビルの価値があがって”産業遺産”に登録!

夜間の景観

- ・美しい光のおしゃれな道。

みちの活用イメージ

- ・ホコ天をやると子供連れの家族が集まる。楽しいことを求めている人がいるように見える。
- ・みちを整備することで歩行者天国、まちなかマルシェなどの参加者が増え、活性化!

牟呂用水を親水空間に

- ・豊橋の街を流れる用水を市民参加で親水公園へ。
- ・牟呂用水を親水公園にしたい。歩道(車道)は歩行者優先で。

魅力ある景観

- ・アーケードがリニューアル!現在取り壊しが進んでいるがLED化で夜も明るくwindow shoppingができるストリートになるといい。(ソーラーなども活用できるかも)
- ・統一感が出ればエリアの価値もあがるかも!
- ・個性あふれるメインストリート商店街の個性を活かす。

歩車共存

- ・車も人も自転車も通れる道にしたい。
- ・車側が自ずと歩行者に気を遣う、歩行者への想いやりのある道になるといい。
- ・車の運転手が歩行者に気遣うような、安心して歩くことができる道にしたい。

萱町通り

水上ビル

不安の木



今昔には
変わりがゆくまの
希望も不安も



歩車共存の
在り方についての
不安も...

豊橋らしさの喪失

- ・チェーン店ばかりになり豊橋らしさがなくなってしまう。
- ・安易に新しい建物やイベント、商業施設を増やしてほしくない。

事業の進め方

- ・10代前半の中学生の居場所が実は少ない。
- ・海外から移住された方のワークショップへの参加が少ない。豊橋は多民族文化のまちになれると思う。
- ・一部の人のためだけの取り組みになってしまわないか。
- ・個々の参加している人は、賑わいを求めている人が多いが、静かに住みたい人はどう感じるか。

アーケード

- ・耐用年数をはるかに経過したアーケード。

沿道の機能について

- ・萱町通りがただの車の通るだけの通りにならないようにできるか。
- ・現状、住宅として使っているのに使用(変化)できるのか不安。
- ・業種のバリエーションが少なすぎる。

形だけの整備になってしまわないか

- ・せっかく新しくしても「形ばかりで、人がいない」。
- ・形(デザイン)に特徴を与え過ぎてしまい、見た目だけになってしまうかも。
- ・ハードに偏り、使い方や利用者が置いて行かれることはないか。

どんな人が来るか

- ・高齢者が多くなり、いかに若い人が住んでくれるのか?
- ・特定の人たちだけが道路を使うようになるのではないか。

維持管理の不安

- ・水はけの悪い道にならないように。
- ・道路工事の跡がデコボコやツギハギで気になる。
- ・道路の管理をしっかりしてほしい。
- ・緑が多いことに対する弊害に対する理解が進むか。
- ・管理体制が維持できるか。

情報発信

- ・広告性、呼び込み。住民参加の賑わい作りは全国各所でやっており、取り組みが埋没しないか。どのように個性を活かし、発信していくか。

担い手について

- ・跡継ぎとなる若者がいるのか。
- ・道づくりに協力したいが、自分にはできることはあるか。
- ・協力者が集まるか。(今後の進め方があまり見えないことが気がかり)
- ・高齢化が進み、お年寄りばかりのまちなかになりつつある。後継者はどうするか。

歩行者と車のバランス

- ・歩道を拡げるのは解決策にならないのではないか。
- ・車が通りづらくなり、人通りも減少するのではないか。
- ・まちなかに住む人が買い物に郊外に出てしまうのではないか。
- ・自動車がたくさん通過する。
- ・車道が狭くなると販売店そばに車の停車さえ困難になってしまう? 利害調整が不安。

人と自転車と車の共存

- ・車→歩くとなっているが、車・人・自転車の共存を考えるのは難しい。
- ・車で市内に来たとき、まず停めるところに困る。どのようにすれば市内に人を呼べるようになるか。
- ・遠くから来ても楽しめる、参加できる場とできるのか。車を置いてくるのか、バス? 電車?
- ・車で来ている郊外の人にはまちなかに来るチャンスが少なくなっている。まちなかの変化に気づいてもらえないし、ホコ天をやっていることも知らない。
- ・歩道が広くなると、自転車のスピードが速くなりそうで心配です。
- ・車、自転車、歩行者との共存が、本当にできるか不安です。
- ・車優先と考えている人の意識を、歩行者優先に変化させることは難しそう。
- ・駐車スペースがないと人が来られない。

滞留できる場所

- ・人が滞在する場所がなければ、素通りされてしまう。
- ・移動だけの道、立ち止まるところがない道になると嫌だな。

アーケードをどうするか

- ・アーケードをどうするの? (アーケードは雨の時は歩きやすくいいけど、アーケードをなくして視界が広いといいかもしれない)

地価問題

- ・固定資産税が高く住むにもお店をやるにもハードルが上がる部分がある。

自然・環境配慮

- ・大きな建物が増え、益々ヒートアイランドがまちなかで進むのでは? 人が建物の中に逃げ込むのでは?
- ・人間のみにも便利なものは良くない。

維持管理等の負担について

- ・緑の管理を誰がどのようにできるか心配です。
- ・緑が増えると鳥害が発生しないか心配です。
- ・たくさんの方の来訪者によってまちが汚れないか心配です。
- ・街路を整備、維持するためのお金はどうするのですか?



担い手がいてこそ、
人の参加の不安...

どんなイメージを目指すのか

- ・商店街の道路を活かすと内容が古っぽくならないか。子供から大人まで、他県から来た人にもおしゃれたと感じる街にしたい。
- ・雑多なイメージにひかれて来たので、それがなくなるのは心配。統一感とのバランスが難しい。
- ・ビジョンが明確にならないままに整備を急いで、中途半端なモノができてしまっは困ります。
- ・よくある観光地のような風景になってしまわないか心配です。

事業の進め方

- ・個々の店のニーズが上手くすりあうだろうか?
- ・市民の意見なしに進めるようなやり方はだめです。

商店街と建物の未来

- ・水上ビルの店舗はどうなるのか。
- ・建物の老朽化が心配。
- ・人口が減少していることが心配。新しく住むご移動に困った高齢者が多く、高齢化がどんどん進む。子供たちがだいたい少なくなってしまった。
- ・商店街をやる人がいなくなってしまう? 物が売れるのはネットばかりで高齢化が進み、子供たちが減ってしまう!
- ・マンションが増えて新しい住民も増えるが、昔からのコミュニティと新しいコミュニティがどうかかわるか。

安全なみちづくり

- ・整備によって段差など新たな危険が発生しそうで心配です。
- ・治安の悪さが心配です。

生活環境と賑わいの両立

- ・沿道に住む人の生活と、まちの賑わいの共存ができるか不安です。

水上ビル

第1回ワークショップのまとめ

最後に、延藤さんがこれからに向けて、今回出てきたつづやきをその場でまとめ、ふり返りました。

おなじみ！延藤せんせいの
頭韻要約法による
まとめ

豊橋市民会まるごとふりかえり



- と とりわけ歩いて楽しいみちづくり！～遠回りしてでも寄りたくなる～
- よ 用水を生かし、親水空間、生き物いっぱいのまちにしよう！
- は はっとするおしゃれな空間を！～路上結婚式など演劇的使い方への共感～
- し 新旧まざりあいの深みのある生活文化を育もう！～何でも第一！まつりもおこそう！～
- の のびのび、本・雑貨・おいしい食事・足湯等、触れられる雑多なみちがいいナ
- み みんな、異ジャンルの人も混ざり合うおでんのようなコミュニティ
- りよく 緑陰と花を増やし、ヒートアイランドを無くし、市民参加で協働管理しよう！
- づ 図式的観光地にはしない。カタチだけの道づくりにしない！
- く 車と人の共存へ！～遠くから来る人の配慮も～
- り 利害調整、管理しっかり、トラブルをエネルギーに変えよう！

→(頭文字を結ぶと・・・) **豊橋の魅力づくり!**

【アンケートより】

1) 初めてのワークショップに参加して

- ・初めて会った方と仲良くワークショップが出来ました。ストリートデザインの第一歩という気持ちです。
- ・グループの方々とそれぞれの立場からの意見交換が出来た。違った視点からの考え方、発想を聞くことが出来た。
- ・皆さんが活発に意見交換ができた。昔からこの土地で生活している方の貴重なお話が聞けた。
- ・緑を増やす意見は多かったが、人が中心な気がした。全てまとめて自然と共に生活したい。
- ・若い世代の Family が水上ビルなど周辺に住んでくれるといい！高齢化！！

- ・現状の価値（古いもの、雑居なもの）をポジティブに考えている人、意見が多かった。
(新しいものばかりがよいとは限らない)
- ・(時間が足りない) 徹夜でやるとか…そういう会もあり

2) 紹介事例で印象的だったこと 発見したこと

- ・まちとみちを創っていくのはそこに関わる人々の思い
- ・市民・地域の方々が多く参加し、活発に意見を出し合いながら組み立てて行くステップ。歩行者優先の歩車共存
- ・無機質な街から有機質な街へ
⇒緑のレガシーの活用、市民協働で緑の管理 (新しい挑戦)

萱町・水上ビルストリートデザインワークショップふり返り通信 vol.01

発行日：2016年8月29日

発行：豊橋市都市計画部 まちなか活性課 (TEL / 0532-55-8102 E-mail / machinaka@city.toyohashi.lg.jp)

協力：大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊

